

## 総合戦略政策評価シート（平成28年度実績）

基本目標	二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる
基本的方向	<p>二宮町人口ビジョンを実現するためには町外への転出を抑制するとともに、子育て家庭を中心とした転入を促進する等、今までとは違う新たな「人の流れ」を創出することが求められます。</p> <p>より多くの人々に「住んで良かった」と実感してもらうため、子育て家庭をはじめ、町内外問わず幅広い人々に対し、町の良さを活かした新しい暮らし方を提案・発信するとともに、定住希望者の希望を叶える環境をつくることを、二宮町総合戦略の第2の基本目標とします。</p> <p>そのため、町の自然・教育・文化・観光等を活かした特色ある取り組みを推進し、効果的なプロモーションを行います。</p> <p>定住促進のためには定住希望者のニーズに対応する住宅供給が求められます。そのため、空き家等の既存ストックを有効活用した定住支援を行います。</p>

### 数値目標

指標名	実績の推移				目標値	備考
	計画策定時	H28	H29	H30		
二宮町の人口	28,479人	28,271人			27,168人以上	
二宮町の社会移動数	転出超過 213人	転出超過 43人			転出超過 58人以下	

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	1：国が示す政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づく基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する
	<input type="checkbox"/>	2：基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある
	<input type="checkbox"/>	3：基本目標の達成状況を検証する数値目標を見直す必要がある
	説明	<p>基本目標「二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる」を達成するために設定した3つの施策は、概ね順調に進行している。</p> <p>この町で新たな「人の流れ」を創出するためには、若者や地域外の第三者等、新たな視点や感性を積極的に取り込むとともに、地域の良さを理解し、愛着を持った次世代の地域づくりの担い手となる人材を育成する必要がある。併せて、町で取り組んでいる各種移住・定住支援メニューをニーズに合わせて見直し、利用を促進することで、移住・定住人口そのものの増加に繋げるとともに、移住・定住者が新たな移住・定住者を呼ぶ好循環を作り出すことも不可欠である。</p> <p>そのためには、今後、施策の効果的・効率的な展開に向け、官民連携をより一層深め、基本目標の達成に向け、取り組みを推進する。</p>

### 外部評価 [二宮町総合戦略評価委員会]

<input checked="" type="checkbox"/>	1：国が示す政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づく基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する
<input type="checkbox"/>	2：基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある
<input checked="" type="checkbox"/>	3：基本目標の達成状況を検証する数値目標を見直す必要がある
意見等	<p>基本目標「二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる」については、目標達成に向けた進捗状況は順調ではあるが、日本全体が人口減少社会に突入り、都市間競争が顕在化する中、活力にあふれ、持続可能な地域社会を実現するためには、町の魅力とともに、認知度及びイメージのさらなる向上と、それを支える効果的な情報発信が不可欠である。</p> <p>そのために、行政主体の情報発信に加えて、町の魅力を伝える個人や団体の情報発信と有機的に連携するとともに、KPI「「にのみやLife」PRホームページの閲覧数」が目標値を大幅に上回った要因を分析し、今後の取り組みに活かすべきである。町の魅力の向上にあたっては、子どもたちの成長を地域と連携・協働して支えることで、町への愛着や誇りを育み、次世代の地域を担う人材育成に繋げることが重要である。さらに、生涯学習センターラディアンや図書館を、従来の手法にとらわれることなく、交流拠点や学びの場としての機能やイベント等を充実させ、抜本的に見直すことで、町民相互の交流促進や交流人口の増加、さらには移住・定住等、文化芸術を起点とした地方創生の実現が期待される。</p> <p>なお、数値目標「二宮町の社会移動数」は、その目標値が社会移動数を抑制しているとはいえ転出超過となっていることから、その要因を分析した上で、転入超過もしくは増減なしに見直すべきと考える。</p> <p>こうした取り組みを一体的に推進することにより、より多くの人々に「住んで良かった」を実感してもらえることに繋がると考える。</p>

## 町の最終方針 [庁内評価委員会]

### 方向性

基本目標「二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる」は、外部評価を踏まえ、目標達成に向け、さらなる施策の展開を図る。

今後は、本町への移住に向けた具体的な行動に繋げるため、これまでの取り組みの成果と課題を整理・分析した上で、町の魅力の継続的な発掘とその発信方法を工夫することで、ターゲットに情報を的確に伝え、町への移住・定住の推進を図る。

併せて、生涯学習センターラディアンを活用し、町の文化芸術や自然環境、歴史等に関する活動を促進することにより、文化振興のみならず、地域への愛着や誇りを育み、将来の定住人口の増加とともに、交流人口や移住者の増加等に繋げる。

なお、外部評価において指摘があった数値目標「二宮町の社会移動数」の見直しについては、年度による変動が大きいことから、今後の推移を勘案した上で、次年度以降にその必要性を検討することとする。しかし、その達成手段である施策については、従来通り、目標の達成状況にとらわれることなく、常に上を目指して推進する。

こうした取り組みを力強く推進することにより、数値目標である「二宮町の人口」及び「二宮町の社会移動数」の目標値を達成し、「二宮町人口ビジョン」の実現を目指す。